

第4 - 1号様式【公開】 地域緑のまちづくり 二次提案 「提案書」

提案計画名	早濑川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり
申込団体名	中川緑と水と歴史をつなぐ会（略称 NGWH 会）
計画の目標 （提案計画全体の目標像（ビジョンやテーマ）を掲げ、目指すべき方向性や達成したい目標について、計画の内容と結びつけて、簡潔に記入してください。）	《提案計画の目標》 地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」づくり <具体的な目標> 目標1：緑と水と歴史をつなぐ交点に当たる早濑川・老馬谷ガーデン（HRG）の緑を増やし、魅力をアップする ・「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のレガシーとして、HRGの緑を増やし魅力アップする。 目標2：中川駅から早濑川・老馬谷ガーデンまでの道沿いに花と緑のゾーンを作る ・中川駅と住宅地を結ぶ歩行者専用道路（歩専道）を中心に緑を増やし、まちを美化する。 目標3：回廊を取り巻く中川西町内会エリアの住宅を緑化する ・地域住民へ緑化活動への参加を呼びかける。 目標4：地域のつながり、地域活動の担い手の育成に取り組む
課題及び背景 （これまでの提案計画づくりを通して、地域で共有した緑の課題や背景を簡潔に記入してください。）	（背景） ・HRGを中心とした地域の大半は、緑の多い港北ニュータウンとして開発された。その後、中心となる中川駅周辺は「ヨコハマ市民まち普請事業」による花と緑のまちづくり、早濑川沿いには「第33回全国都市緑化よこはまフェア」開催時に市民・大学・都筑区の協力で完成したHRGのように、住民参加のまちづくりが行われてきた。 ・この早濑川沿いには、旧大山街道、農業地帯もある歴史と昔の風景が残っている。 ・これらの地域の魅力をHRG中心に緑で繋ぎ、地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」を作ることを地域で検討し構想化した。 （緑の課題） 「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」づくりを検討する過程において、下記の課題が明らかになった。 ① HRGを全国都市緑化よこはまフェアのレガシーとして改善を進める必要がある。 ② 港北ニュータウンで作られた歩専道の植栽が雑草に覆われ欠損している。 ③ 早濑川沿い斜面地の住宅地は、擁壁が多く、緑を増やすと景観がよくなる。 ④ 地域住民にまちの緑の素晴らしさを伝え、新たに住民を巻き込んで、地域全体で緑の維持・発展していく必要がある。
課題解決及び効果 （提案する緑化や活動がなぜ、地域の緑の課題解決となるのか、また地域にどのような効果があるのか、前項の課題及び背景や計画の目標を踏まえ、簡潔に記入してください。）	① HRGの緑を増やすことは早濑川沿いを歩く楽しみを増加させるばかりでなく、高いコンクリート擁壁の緑化によって、川と丘の上の住宅街の緑を結び付けて緑の景観を創出することが可能となる。 ② 中川駅、住宅地、早濑川を結び、通学、買い物に使われる歩専道に美しい緑を復活させることは、地域の価値を高める。 また、この活動に住民が参加することにより、土木事務所任せの緑の環境維持から、行政と住民の協業で緑のまちをつくる体制ができる。 ③ 早濑川沿い斜面地に作られた住宅地の景観が、HRG擁壁緑化、自宅の擁壁緑化により、緑多き風景に変わる。 ④ 散歩道を取り巻く中川西町内会全体で自宅の緑化活動に取り組むことは、「緑のまちをつくり、地域の価値をあげる」という地域共通の目標につながる。

【この「提案書」は、公開されることを留意して記入してください。】 (A4)

第4 - 2号様式【公開】 地域緑のまちづくり 二次提案 「提案書」

<p>組織作り</p> <p>(本事業を実施するために、<u>どのような組織づくりを</u>考えていますか、簡潔に記載してください。)</p>	<p>このプロジェクトを推進する「中川緑と水と歴史をつなぐ会」(つなぐ会)には、下記の団体が参加し、つなぐ会は、全体のマネージメント、イベント等を行い、目的の達成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRG 運営会 (HRG の緑化) ・新組織「つなぐ会ハマロードサポーター」の立ち上げ (歩専道の緑化維持) ・中川西中学校おやじの会 (中川西中学校の緑化維持) ・中川西町内会 (民家緑化の推進、地域への広報、資金援助) ・NPO 法人ぐるっと緑道 (地域への広報、資金集め、事務局)
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p> <p>(どのように<u>地域の緑化や緑の活動を</u>展開し、<u>地域へ</u>広げていくか、簡潔に記載してください。)</p>	<p><民有地緑化・景観木保全></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HRG の緑を増やし、魅力アップする。 <ol style="list-style-type: none"> ① 道路沿いの擁壁をつる植物により緑化する。 ② 道路際の鉄パイプフェンスをつる植物と植栽で緑化する。 ③ 植物をからませたパーゴラを設置し、緑につつまれた潤いのある空間を作る。 2. 中川駅から HRG までの道沿いに花と緑のゾーンを作る。 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の参加で、歩行者専用道路の植樹帯に植栽し花壇を作る。 ② 中川西中学校の歩専道沿いの土地を学校と協力して、緑化をする。 ③ 散歩道の交点にロックガーデンまたはシンボルツリーを作る。 3. 中川西町内会エリアの民家玄関にプランター設置、擁壁緑化の呼びかけを行い、地域全体で緑のまちづくりを行う。 <p><地域緑化活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 活動への参加が地域のつながりをつくり、活動を維持する契機となる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 緑化整備した花壇、プランターの植替え等をイベントとして開催する。 ② 担い手を育成するため、植栽管理の研修会を実施する。 ③ メンバーが使用するビブス等を作成し、活動のPRを図る。 ④ 広報紙を年3回発行し、活動と散歩道のPRを行う。
<p>計画期間終了後の活動について</p> <p>(計画期間終了後も<u>地域の緑化や緑の活動が</u>継続できる<u>仕組みづくりや、地域への広がり</u>について、簡潔に記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間終了後は、エリア毎の担当組織である HRG 運営会、つなぐ会ハマロードサポーター、中川西中学校おやじの会が緑の維持活動をしていく。 ・当該各代表者とぐるっと緑道、中川西町内会が参加する「中川緑と水と歴史をつなぐ会」は、「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」を中心テーマにして、地域の緑、早渕川、歴史の魅力を広報宣伝するとともに、イベントを開催することでエリアに親しんでもらう。また、地域活動に参加する人を増やし、「団体連絡会」などを開催することで地域団体のつながりを強化していく。さらに、プロジェクトの状況を毎年レビューし、地域にフィードバックし、その維持と今後の活動の継続に繋げていく。
<p>資金計画</p> <p>(自己負担が発生する<u>場合の資金の捻出</u>方法や<u>計画期間終了後の活動資金等</u>について、簡潔に記載してください。)</p>	<p>(資金の捻出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅緑化の自己負担分は、原則として、整備場所の所有者の負担で実施する。 ・公用地の緑化にかかわる費用は以下で賄う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 町内会、企業、個人から寄付を募る。 ② 地域で開催するイベント収益金の一部を経費に充てる。 ・住民参加型の活動を主体として、できるだけコストを抑える。 <p>(計画終了後資金捻出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人と団体の寄付及び地域イベント収益金を運営資金に充てていく。 ・本会主催のイベント参加費、手作り品や収穫物の販売の収益なども資金源にする。

第4-3号様式 **【公開】** 地域緑のまちづくり 二次提案 **「提案書」**

計画の内容	
(助成内容の項目ごとに、 <u>できるだけ具体的に</u> 箇条書きで記入してください。)	
<p>< 1年度目 (令和4年度) ></p> <p>1. 民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRG 擁壁花壇づくりと植え込み (4か所、擁壁緑化の先行事例づくり) ・中川西中学 30周年事業で散歩道沿いユキヤナギ (1か所) /旧大山街道ユキヤナギ (2か所) ・町内会館など自宅の緑化の先行モデル事例づくり (プランター、壁面緑化) <p>2. 地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい活動、一体感、PR効果をもたらすシンボルマーク (ロゴ) やビブス等購入 ・花植え/植木講座の開催 (年3回) ・HRG 整備活動 (月2回)、歩専道ハマロードサポーターの結成・運営と花、樹種等の検討 ・広報紙発行 (年3回) ・整備備品の購入 	
<p>< 2年度目 (令和5年度) ></p> <p>1. 民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRG パーゴラの建設及びびつる性植物の植え込み (1か所) ・住民参加で歩専道の植栽植え込み (2か所) と道標シンボルツリーづくり (8か所) ・自宅の緑化先行モデル事例のPR及び緑化参加者の募集の継続 (プランター、壁面緑化) <p>2. 地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花植え/植木講座 (年3回) ・広報紙発行 (年3回) ・整備備品の購入 ・HRG 整備活動 (月2回)、歩専道ハマロードサポーター (年6回) ・緑化活動をPRするための緑と水のイベント、散歩道ウォーク企画 	
<p>< 3年度目 (令和6年度) ></p> <p>1. 民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRG 鍛冶橋口オベリスク (1か所) /鉄パイプ垣根づくり (2か所) /子ども遊びエリア (1か所) ・コミュニティ道路街路樹跡の植樹 (5か所) ・自宅の緑化事例の紹介及び緑化参加者の募集の継続 (プランター、壁面緑化) <p>2. 地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花植え/植木講座 (年3回)、広報紙発行 (年3回) ・HRG 整備活動 (月2回)、歩専道ハマロードサポーター (年6回) ・緑化活動をPRするための緑と水のイベント、散歩道ウォーク企画 	
<p>創意工夫 (提案における、地域ならではの工夫した点等を記入してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都筑区まちづくりプラン」の地域版である「中川まちづくりプラン」の具現化を図る提案である。 ・地域資産を活かし、愛される回廊づくりをテーマ中心に据えた緑化計画である。 ・地域の目標を「緑の景観」とし、価値を高め、つながりを強める活動である。 ・住民、大学、中学校、保護者及び都筑区が協力して緑化を進める活動である。

緑化計画図（緑化整備や緑化活動の内容などを図面やイメージパース、写真等で作成してください。なお、計画対象範囲図は、横浜市が作成します。）

HRGを中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり

中川緑と水と歴史をつなぐ会

1. 早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG)の緑を増やし、魅力をアップする

2.3. 中川駅からHRGまでの道沿いに花と緑のゾーンを作り、地域全体で緑のまちづくりを行う

① 道路沿いの擁壁をつる植物により緑化する

擁壁下に部分的に新規花壇を作り、常緑の登攀性つる植物で擁壁を緑化する。低木と多年草の植栽を施す。



② 鉄パイプフェンスをつる植物で緑化する

単管パイプには、ネット装着の上常緑つる植物を誘引する。



③ 植物をからませたパーゴラを設置し、緑につつまれた潤いのある空間を作る

中央テラスに植栽マス併設のパーゴラを設置する、



④ 鍛冶橋入口をアピールできるように改善する

散歩道のエントランスシンボルとなる植物を絡ませたオベリスクを建てる。



⑤ 草地など子供が遊んだり、学んだり使って楽しむエリアを作る

草地内に見切り材でミステリーサークル状に花(ナノハナ・ヒマワリなど)の迷路をつくる。



対象地域: 中川 1~4丁目の市街化区域および青葉区荏田町の一部



- オレンジ系道路 = 自転車歩行者専用道路
駅・学校・買い物に車に出会わずに歩いて行かれる
- コミュニティ道路
通過交通のない住宅地のなかの一番身近な道。安全でコミュニティの様々な活動をはぐくむ
- 旧大山街道
最盛期の江戸中期宝暦年間(1751-64)には年間20万人が大山詣りをしたといわれる

(1) 道路沿いの私有地の緑化を提案する

① 学校用地斜面地の緑化

中学校斜面地は、30周年記念として低花木を植樹する。



② 個人宅擁壁の緑化

お勧めしたい懸垂する植物や、登攀する植物の苗を配布する。



③ 個人住宅の緑化

一般道に面した個人宅に、この事業のテーマに即した苗の取り合わせのサンプルを提示し、鉢、或いは地植え、プランターで道沿いを緑化してもらう。



(2) 歩専道、コミュニティ道路の植栽マスの緑化

④ 欠損部の補植

周囲の植栽と併せた低木を補植し、歩専路植樹帯の緑を復活する。



⑤ 道しるべ

自転車歩行者専用道路や、コミュニティ道路の一角に、散策路を想起させる景石と寄植えのコーナーを設ける。

